

アルゼンチンアリの見分け方

都市部の公園、庭、民家周辺などで見られる日本在来のアリは10数種類ほどです。
それらとアルゼンチンアリは以下の手順で区別します。

● 体の色は茶色である。

Yes
茶色（赤褐色～黒褐色）



No
黒～灰色 or 橙色～黄色




※ごく稀に黒っぽいアルゼンチンアリがいるので注意！

● 体の大きさは2.5～3.0mm程度である。

Yes
実物大
2.5～3.0mm




No
実物大
8mm以上 4mm 2mm以下




※1匹では分けにくいので、リーフレット外周の実物大行列と比べてみてください

● 体はスマートである。

Yes
スマート




No
ずんぐり




ここまで来れば残り 2～3種類！

アルゼンチンアリ
外来アリ



「つや・赤み」が弱い
色の濃淡なし
くびれ目立たない
働きアリ (約8倍)

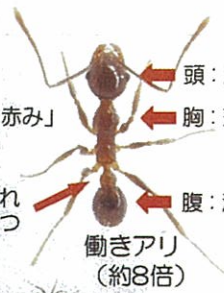
御用

- ①全身ほとんど色の濃淡がない
- ②肉眼では腰のくびれは目立たない
- ③体の「つや」が弱い
- ④体色に赤みがない
- ⑤脚の長さは目立たない
- ⑥行列に頭の大きな兵隊アリはいない
- ⑦建物の中まで行列が入る
- ⑧数が多い時には行列が帯状になる
- ⑨高速でせわしく歩く

※リーフレットの外周が実物大の行列

最後はじっくり観察です。

オオズアリ 実物大の行列




在来アリ

「つや・赤み」が強い
くびれ目立つ
働きアリ (約8倍)

- ①頭と腹が胸より色が濃い
- ②肉眼で腰のくびれが目立つ
- ③体の「つや」が強い
- ④体色の赤みが強い
- ⑤脚の長さが目立つ
- ⑥行列に頭の大きな兵隊アリが混じる
- ⑦建物内まで行列は入らない
- ⑧行列は線状
- ⑨比較的ゆっくり歩く

トビロシワアリ



在来アリ

働きアリ (約8倍)

- ④体色は黒っぽい (※ほぼ黒いアリなので通常は体色で区別できますが、茶色っぽいものもいるので注意！)
- ⑦建物内まで行列は入らない
- ⑧行列は線状
- ⑨比較的ゆっくり歩く

実物大の行列

侵入種！アルゼンチンアリ

アルゼンチンアリは、南米原産のアリで人間の交易に附随して、ここ100年ほどの間に世界中に広がった侵略的外来生物の一つです。日本では1993年に広島県廿日市市で最初に発見され、その後、山口県岩国市、柳井市、広島市、兵庫県神戸市、愛知県田原市などへ分布を広げています。侵入地では、在来アリを駆逐するなど生態系への影響が心配されるほか、頻りに家屋内へ侵入し、食品に群がったり、布団の中に入れて入り込んで安眠を妨げたりと衛生害虫として大きな問題になっています。このため、外来生物法の「特定外来生物」に指定され、防除方法が検討されています。



★アルゼンチンアリの防除について★

アルゼンチンアリは、連続した複数の巣の中に女王アリがたくさんいる「多女王多巣制」という巨大な社会をつくり、旺盛な繁殖力でどんどん増えていきます。これまで世界中の侵入地で防除が試みられてきましたが、未だ完全駆除に成功した国はありません。このため、現時点で根本的な防除法は紹介できませんが、アリが集まりやすい環境をなくすことと、各種殺虫剤を効果的に組み合わせることで、家屋内への侵入はかなり防ぐことができます。

①アリが集まりやすい環境をなくす

下の絵の左3例はアリが巣を作るきっかけとなる場所を与えています。ポイントは、地面にじかに物を置かず立て掛けるか台の上に置くことです。また、食べ物をテーブルの上などに長時間放置しないようにしましょう。



②殺虫剤の種類と使う際の留意点

現在市販されているアリ用殺虫剤には、その形状によって大きく以下の4種類に分けられます。それぞれに長所、短所がありますので、アリの発生状況と目的によって、使い分けまたは組み合わせると効果的です。

屋内・屋外

エアゾール型

長所：目の前のアリに即効性がある。
短所：巣の中のアリまでは防除困難である。

【留意点】

- 顔などに誤噴射しないように注意する。
- 廃棄時は穴をあけて、ガス抜きを忘れずに。
- 子供の手の届かない冷暗所に保管する。

液体型

長所：目の前のアリに即効性があるほか、遅効性のタイプもある。
短所：家屋内で使いにくい。

【留意点】

- 水系に流入しないよう注意が必要である。
- 散布時に飛散した液が目に入らないよう注意する。
- 手などにかかった場合はよく洗う。
- 揮発成分の含まれるものは吸入に注意する。
- 子供の手の届かない場所に保管する。

主に屋外

粉末型

長所：殺虫成分を含むものもあるが持続的な忌避効果が期待できる。
短所：薬剤自体が目立つ。

【留意点】

- 水系に流入しないよう注意が必要である。
- 散布時に飛散した微粉末の吸入に注意する。
- 乳幼児やペットの誤食予防措置が必要である。
- 子供の手の届かない冷暗所に保管する。

主に屋外

屋内・屋外

ベイト(餌)型

長所：設置が簡単。環境への負荷が極めて少ない。巣のアリを駆除できる。
短所：遅効性なのですぐに効果が実感できない。

【留意点】

- ケースの破損によるベイトの飛散に注意する。
- 乳幼児やペットの誤食予防措置が必要である。
- アルゼンチンアリには液体またはゼリー餌タイプを使用する。